



▲九州大会に出場した濱結菜選手

濱結菜選手が九州大会に出場 第42回九州少年柔道大会

7月6日（土）・7日（日）人吉スポーツパレスで開催された第42回九州少年柔道大会に甲佐町総合型地域スポーツクラブの甲心館に所属する濱結菜選手（甲佐小6年・横田区）が出場しました。濱選手は「1回戦敗退という結果で悔しいですが、練習をしっかりとやって試合でちゃんと技がかかるようにしたいです」と今後の抱負を話しました。

自然に触れて心豊かに 野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

7月31日（水）・8月1日（木）川平キャンプ場で野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。同イベントは、1泊2日のキャンプを通して緑川などの自然に親しむとともに、子どもたちが共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することなどを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が共催。同イベントには町内の小・中学生14人が参加しました。

子どもたちは各班に分かれ、協力して行動。1日目は活動の目標を書いた横断幕を作り、その後に川遊び、テント設営などを体験。また、飯ごうでご飯を炊き、自分たちで野菜を切ったりしてカレーライスを作り、自然の中での昼食を満喫、夜にはバーベキューと花火を楽しみました。

2日目は木の板を焼き、絵付けをして作品にする焼き板作りや流しそうめんを体験。子どもたちは1泊2日のキャンプで思い出に残る夏休みを過ごしました。



▲山浦代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

5月14日（火）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた株式会社グッドバイバイ（熊本市・山浦章太代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。

▼流しそうめんを楽しむ子どもたち



▲昼食のカレー作りで野菜を切る子どもたち



▲各班での横断幕づくり子どもたち



▲白バイ隊員の話聞く児童たち

交通ルールを守ろう

御船警察署が交通安全教室を実施

8月6日（火）放課後児童クラブのゆうぐれハウス（下横田区）で御船警察署交通課による交通安全教室が行われました。参加した児童たちは、DVDを鑑賞して交通事故に合わないための道路の歩き方や横断歩道の正しい渡り方を学びました。同教室には白バイ隊員も参加し、交通事故に遭わないように気を付けておくことなどを児童たちに話しました。

台湾の高校生と国際交流

本町の中高生が台南市を訪問

8月6日（火）～9日（金）本町の中高生など10人が台湾の台南市を訪問し、国際交流を行いました。

自然や文化など、生活習慣の違う環境の中での交流事業を通して国際化社会に対応できる人材を育成することを目的として、甲佐町国際交流協会（田上浩輝会長）が平成27年度から台南市の土城高級中学校との相互交流を実施しており、今年度は本町の中高生などが台湾を訪問しました。

参加した生徒たちは、台南市の中高生とパイナップルケーキ作りを楽しんだり、台湾の史跡や名所を巡ったりして交流を重ね、親睦を深めました。

参加した生徒は「最初はお互いの言葉が通じないので戸惑いましたが、現地の中高生と一緒にご飯を食べたりして、少しずつ仲良くなれてよかったです」「言葉や文化の違いで困った事もあったけど、自分から積極的に話しかけてコミュニケーションを取る事が出来ました」と4日間の感想を述べました。



▲故山崎警部補の慰霊碑に黙とうをささげる参加者たち

地域の安心を守る誓いの日

故山崎警部補慰霊祭

7月31日（水）仁田子の緑川河川敷に鎮座する故山崎貴仁警部補の遺徳をしのび、慰霊祭が開催されました。慰霊祭は昭和46年7月31日に大雨で増水した緑川の中州で助けを求める中学生の救助活動中に殉職した山崎警部補の意思を受け継ぐために、御船警察署が毎年、同人の命日に実施。参加者は黙とうをささげた後、御船警察署長の訓示を受け、決意を新たにしました。

▼台南市で歓迎を受ける参加者のみなさん



▲台南市の中高生とケーキ作りを楽しむ



▲奇美博物館を見学する参加者